大阪早稲田倶楽部

覇者早稲田／岡本　周造（昭57年社学）

2012. summer　vol.167

総会報告：大阪早稲田倶楽部定時総会・・・・・ 1
あいさつ：新会長／新理事長・・・・・・・・・・・・ 2
ゴ ル フ：団体も個人も慶応を圧倒してダブルV・・・ 3
食べ歩き：「あるとれたんと」を味わう・・・・・ 4
特別寄稿：「ふ　ぐ」・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
特別寄稿：ドイツの楽しい仲間達・・・・・・・・・ 6
特別寄稿：原発事故を風化させるな・・・・・・・ 8
特別寄稿：「画題をつける」という写真の楽しみ方・・・ 9
撮 影 会：紫陽花を撮る・・・・・・・・・・・・・・・ 10
稲 雲 会：俳句会一年の歩み・・・・・・・・・・・・ 12〜15
アラカルト：早稲田摂陵を訪問・・・・・・・・・・・・ 16
ハイキング：疎水に映える桜と菜の花・・・・・・・ 18
ハイキング：大神神社御神体登拝・・・・・・・・・・ 19
平成24年度役員・理事名簿・・・・・・・・・・・・ 20・21
特別寄稿：鉄輪温泉プチ体験湯治・・・・・・・・・ 22・23
特別寄稿：東北一人旅のご報告・・・・・・・・・・・ 24
特別寄稿：京都・三弘法の復興・・・・・・・・・・・ 25
校 友 会：校友会大阪府支部事業・・・・・・・・・ 26
校 友 会：役員、商議員、代議員・・・・・・・・・ 27
特別寄稿：摂津源氏の系譜を辿る・・・・・・・・・ 28
収支決算書／倶楽部活動・・・・・・・・・・・・・・ 29

早稲田大学校友会会員様【特別ご優待プラン】

期 間／2014年7月31日までのご利用

ご宿泊

- ■平日（日～木） 1名様利用1室料金（朝食付） 20,000円（税・サ込）
  2名様利用1室料金（朝食付） 25,000円（税・サ込）
  3名様利用1室料金（朝食付） 32,000円（税・サ込）
- ■金・土・祝前日 1名様利用1室料金（朝食付） 28,000円（税・サ込）
  2名様利用1室料金（朝食付） 40,000円（税・サ込）
  3名様利用1室料金（朝食付） 51,000円（税・サ込）

［通常］57,000円～72,000円（2名様利用1室料金）

ランチ・ディナー（レストラン「ル・クール神戸」または鉄板焼「心」にて）

- ■ランチ 食事代金（飲料除く） 10%割引
- ■ディナー 食事代金（飲料除く） 15%割引

※ルームサーヴィス、ラウンジ＆バーでのご飲食料金は除きます。

スパ・トリートメント（「ラ・シェール」にて／女性専用）

- ■スパ利用料金 通常 6,300円（税込）▶優待料金 3,150円（税込）

※ご宿泊でのご利用の際は、1,050円（税込）となります。
※エステご利用の際は、無料となります。（30分のショート＆オプションコースは除きます）

- ■トリートメント料金 20%割引 ※化粧品等の商品代金は除きます。

ラ・スイート直営スイーツショップのご贈答品

- ■スイーツ＆ベーカリー「ル・パン神戸北野」のお中元・お歳暮を5万円以上ご用命のお客様へ10%割引

御婚礼特典

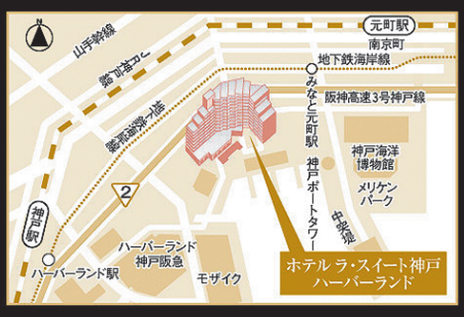
- ■ラ・スイートご利用券 10万円分プレゼント ■挙式料50%割引

※40名様以上御招待される挙式・披露宴のご成約に限らせていただきます。

御宴席特典

- ■ご宴席の幹事様へラ・スイートご利用券 1万円分プレゼント
- ■乾杯用スパークリングワイン1杯をご出席の皆様へサーヴィス

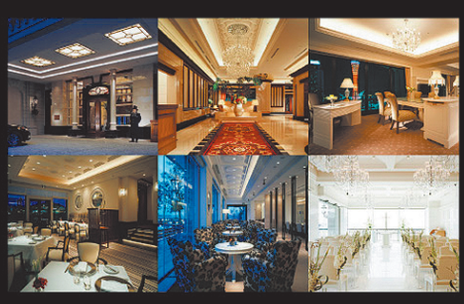
※20名様以上ご利用の宴席に限らせていただきます。



ご予約・お問合せ

ホテル ラ・スイート神戸ハーバーランド
HOTEL LA SUITE KOBE HARBORLAND
〒650-0042 神戸市中央区波止場町7番2号
Tel 078-371-1111
http://www.l-s.jp ラ・スイート 検索

株式会社ラスイート
代表取締役 関 寛之（平成8年 建築卒）



※ご予約時に上記プランご利用の旨をお伝えください。

※ご利用時にお名刺を頂戴いたします。
※年末年始、ゴールデンウィーク、みなとこうべ海上花火大会開催日、お盆、全館貸切日等は除外日とさせていただきます。
※3名様の場合は和室にて布団セットをご用意いたします。お子様添寝の場合は無料となります。
※各種プランは割引対象外とさせていただきます。
※客室タイプはお選びいただけませんが、優先的にアップグレードさせていただきます。
※満室の際は、ご利用をお断りさせていただく場合がございます。

日本のホテルとしては初めてSLHに迎えられました。

ミシュランガイド〈2011・2012〉「神戸ホテル部門で最高の評価」を2年連続で獲得。

©MICHELIN2011

大阪早稲田倶楽部定時総会

新会長に人見亨氏、理事長に野村公平氏

大阪早稲田倶楽部の2012年度定時総会が５月17日、大阪新阪急ホテルで開催され、約160人が出席した。第一部は講演会で、松尾正人・野村證券執行役員大阪支店長（昭61年法）が「今後の経済展望と株式市場」のテーマで、揺れる欧州経済や米国の景気動向、中国やアジア経済のすう勢などに触れながら日本経済の見通しを概観。「国内情勢は震災復興需要が支えで、財政健全化、ＴＰＰなどの進展に期待している」などと述べた。

第二部の年次総会では、2011年度の活動や決算報告、12年度の活動予定や予算案などが審議された。役員人事では、会長を４年間務めた角和夫氏（昭48年政経）が退き、人見亨理事長（昭45年理工）が会長に、野村公平監事（昭47年法）が理事長に選任された。また、新任理事（任期２年）35人が承認され、現任理事（任期１年）38人と合わせ、理事は73人となった。

新会長の人見氏は「長い歴史と伝統を持つ倶楽部であり、大学本部や校友会大阪府支部とも連携しながら会員相互に親睦を深め、今後もよりよい組織となるよう力を尽くしたい」とあいさつ。また、理事長になった野村氏は「人と人とのつながりを大切にし、これまでお世話になった恩返しをしたい」と抱負を述べた。

第三部は懇親会。招待の大学本部理事や近隣校友会の役員の方々を囲みながら、若手から年配の会員まで歓談が続いた。大阪稲門グリークラブによるステージが楽しい雰囲気をさらに盛り上げた。

（新役員・理事名簿、11年度決算などは別頁を参照）

講演する松尾正人氏

想いをかたちに
www.takenaka.co.jp
竹中工務店
お問い合わせは――広報部へ　東京／〒136-0075 東京都江東区新砂1丁目1-1 Tel.03(6810)5140　大阪／〒541-0053 大阪市中央区本町4丁目1-13 Tel.06(6263)5605

ご挨拶

大阪早稲田倶楽部の5月の定時総会において、新会長に人見亨氏（昭45年理工）、新理事長に野村公平氏（昭47年法）が選出された。

新会長　人見　亨

本年2012年、大阪早稲田倶楽部は92周年を迎え、８年後には100周年ということになります。この歴史を育み、連綿と繋いできた先輩諸氏に敬意を表したいと思います。

お陰様で近年、大阪早稲田倶楽部の財務体質も改善してまいりました。また倶楽部内の個別の各部の活動も、その活力が維持され、かつ新しい動きも見られます。これはひとつには活動の拠点を便利な梅田に得ることができたことと、ふたつには事務局を含め、会員の皆様の努力、協力によるところが大でありまして、関係者に深く感謝申し上げる次第です。

幅広い世代にまたがる交流、あるいは周辺の支部や学校関連組織、他大学との交流は様々な刺激となり、新たなる展開に道をつけることとなります。

早稲田大学校友会大阪支部を支える組織として、大阪早稲田倶楽部に今後とも皆様の積極的な参画をお願いします。

新理事長　野村　公平

この度、理事長に選任されました野村公平です。

人見亨会長の下で、会員の皆様方のご協力をえて、歴史と伝統のある大阪早稲田倶楽部がさらに盛り上がり、皆様方の交流と結束が深まるよう努力する所存でございます。

会員の多寡は倶楽部の活力の源です。その数は４月７日現在643名でありますが、これからも増え続けるよう人見会長を先頭に努めてまいります。ホームページなどのＩＴ媒体を活用し、若い世代の皆様のご入会を募りたいと思っております。

理事会では活発な意見交換をしていただいておりますが、春の大阪早稲田倶楽部総会、秋の早稲田大学校友会大阪府支部総会、新入会員歓迎会、各種部会など交歓の場に多くの皆様が「集まり」、余韻をもって「散じ」ていただけるよう理事の方々と一緒に考えてまいりたいと思っております。

また、倶楽部の財政は運営の土台ですので、さらに安定するようさまざまな努力をすることも必要だと思っております。

非力ではありますが、会員の皆様方のご指導とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

団体も個人も慶応を圧倒してダブルV

親睦の中にもライバル心を発揮していざ勝負。その前に記念撮影を。旗の大きさでは負けました。

団体も個人も優勝で最高の晴れ舞台となった角会長（左）右は慶応の錢高会長

第６回大阪早慶ゴルフ大会が５月12日、交野市の交野カントリー倶楽部で開かれた。17組68人が参加し、わが稲門の奮闘のかいあってチーム戦では早稲田。個人戦でも角和夫会長（昭48年政経）が優勝し、ダブルVを果たした。対戦戦績は早稲田の４勝２敗となった。

ゴールデンウイークを１週間も過ぎて半袖でも十分なほどの陽気と思いきや、長袖のポロシャツ１枚では寒いほどの冷え込み。それでも対慶応となれば燃える面々の熱気だった。参加者数では早稲田44、慶応24と、まず圧倒。とはいえ、それぞれ上位10人のＮＥＴ合計で競うだけに、「数の力」は当てにならない。

しかし、今年は昨年の雪辱をと気合が入り、優勝の角会長に続き、２位は慶応の金井宏実氏（昭57年）に譲ったものの、３位から６位まで４人続けて早稲田が占め、７～９位が慶応で10～13位が早稲田と上位13人のうち９人までが早稲田と圧倒した。

この結果、上位10人のＮＥＴは早稲田は726.6。対する慶応は738.2。勝利の美酒に酔いしれることができた。表彰式ではチームの優勝杯と個人優勝の栄誉を手にした角会長が「いやあ、こういうこともあるもんですね。嬉しい限りです」と満面の笑顔だった。今回のホスト役だった慶応の錢高一善会長（昭41年）は「早慶盛り上がった素晴らしい大会でした。大阪の早慶の仲間は垣根がありません。これからも楽しいお付き合いをさせてください」と挨拶した。

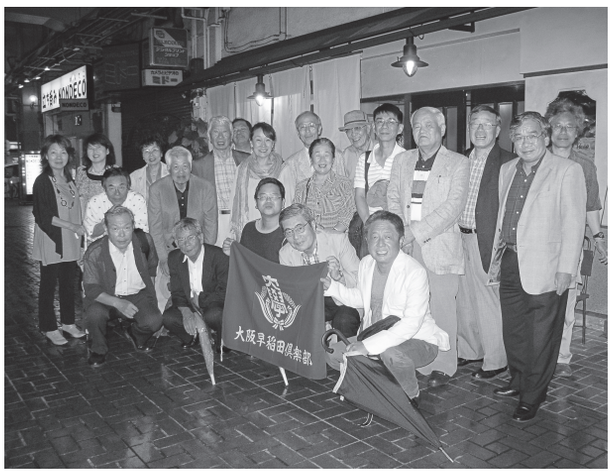
早稲田の上位20人の成績は別表の通り。

◎稲門上位20人　成績表

順位	氏　名	OUT	IN	グロス	ハンディ	ネット
1	角　和夫	47	45	92	21.6	70.4
3	平田房夫	42	48	90	19.2	70.8
4	薮本光彦	48	46	94	22.8	71.2
5	竹田雅幸	43	43	86	14.4	71.6
6	野村公平	49	50	99	26.4	72.6
10	森本　宏	49	45	94	20.4	73.6
11	金本基弘	47	46	93	19.2	73.8
12	森元　泉	47	51	98	24.0	74.0
13	村上圭太郎	50	48	98	24.0	74.0
18	前田　修	54	47	101	26.4	74.6
19	西田隆郎	49	56	105	30.0	75.0
22	南　仁秀	46	46	92	16.8	75.2
24	稲部勝博	41	43	84	8.4	75.6
26	原　修志	51	51	102	26.4	75.6
27	平田　聰	52	49	101	25.2	75.8
28	徳井隆一	52	55	107	31.2	75.8
29	尾名隆司	50	50	100	24.0	76.0
30	平野義朗	50	50	100	24.0	76.0
31	熊澤一郎	46	41	87	10.8	76.2
32	小西康仁	50	48	98	21.6	76.4

八戸の里の地中海料理とワインの店
「あるとれたんと」を味わう

揚野　寛(昭43年政経)



おいしい料理のあとはみなご満悦

私の産経新聞入社の若かったあの頃、ＯＢの司馬遼太郎氏はサンケイ新聞に世界のどこに出しても共感を呼ぶは青春は坂本竜馬のそれしかないとの気持で書いた [竜馬がゆく] の連載が終わり国民的作家と評価されだした頃でした。今年は17回忌になる。そうだ、この混迷の時代に司馬遼太郎記念館を訪れて司馬先輩も危うんだ日本の行く末を打開できる手掛かりを知り、あわせて府外へ出るばかりでなく地元の食も探究しょうと一念発起して界隈を探しましたが、これという情報がなく進退きわまり司馬記念館の上村洋行館長と夫人の元子副館長に尋ねたところ、記念館御用達で庶民的な店ですがと、ご両人に推薦してもらったのがこのお店。

副館長は私とサンケイの同期、司馬夫人の弟の館長は１年先輩の間柄で、当時サンケイでは多かったまさに絵に描いたような社内結婚で、きっと適齢期でほぞをかんだ若手社員も多かったことだろう。

梅雨入りしたばかりで、今にも降りそうな空模様の６月16日（土）の午後３時、「八戸の里」駅改札口に、いつものグルメ委員会のメンバーに今年大阪へ転勤してきたばかりの平成卒業の藤本竜太君と退職後世界クルーズの夢を果たした渡部壽子さんの新しい顔ぶれを加えた22名が集結した。

安藤忠雄氏設計の記念館へのルートは、東大阪市が誇る随一の観光文化施設ならではで、街路燈も舗道の表示も立派に整備されている。

入口では、当方の訪問時間の変更により、当日のこの時間には館長夫妻が所用で不在のため出迎えできないことへのお詫びと、ぜひ、緑と本の中でゆっくりと司馬遼太郎と対話してくださいとの副館長からのメッセージを受け取って館内へ。まず２万冊が11メートルの壁面に展示された「大書架」に圧倒された後、150席のホールで映像を観るなどゆったりとした時間を過ごしてから「あるとれたんと」へ。

当日の天候を予測していたかのように、店は雨に濡れずに帰れるまさに八戸の里駅改札口の真正面で、オーナーの藤本夫妻が温かく迎えてくれた。

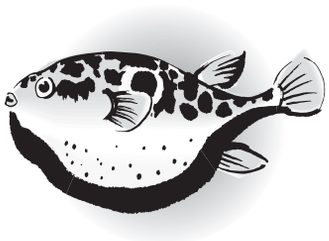
まずは、旬の味・活鰻の衣揚げパプリカソース（京都産伏見唐辛子添え）から始まって、ピッツァ　スペシャル　マルゲリータ（フレッシュトマト･バジリコ･水牛モッツァレラチーズ)、ピッツア　プロシュート（パルマ産生ハム・ルーコラ・パルミジャーノ)、前菜あれこれ、パスタ　天然真鯛のラヴィオリ、熊本産黒毛和牛のホホ肉赤ワインの煮込み、デザート　パンナコッタにエスプレッソ　コーヒーまでの約３時間、料理評論家ではないので、美味しかったとしか表現できませんが、上村夫妻のヨロシクネとのお店への声がけのお陰によるサービスで（感謝！)、海と山の食材満載の料理を味わい尽くし、ワイン赤白12本を飲み干し記念撮影もして、みんな大満足にて帰路についたのでありました。

「あるとれたんと」とはイタリア語で「あなたも、皆さんとどうぞ、ご一緒に」の意とか。近鉄八戸の里駅改札口正面　℡06－6788－0788

記念館では司馬遼太郎氏の書斎も見学できる

「ふ　ぐ」

片岡　隆(昭34年商)



芭蕉の有名な句に「あら何ともなやきのふは過ぎてふぐと汁」という俳句がある。

ふぐは食いたし命は惜しし、ふぐは最高級の食品である。おそらく悲喜こもごもの中毒の歴史は４千年以上も経っていることであろう。

日本の貝塚からもふぐの骨が出ており、大和朝廷時代の骨も出ている。大阪湾のふぐが運ばれていたものだろう。

中国の大詩人蘇東坡は大変なふぐ好みで、その詩の中で、「一死に値する」と描いている。ふぐ中毒の症状は、食後20分ないしは３時間後に現れる。致死時間の一番短い例は１時間半、長くても約８時間。まず唇、舌のしびれに始まり、次に指のしびれ、此の時期に頭痛、腹痛、歩行は千鳥足、激しい嘔吐後まもなく運動不能となり、知覚麻ひ、言語障害、呼吸困難となり死に至る。

ふぐ中毒にはいまだに特効薬も、効果的な治療法もない。ふぐ毒はふぐの食べるものよりくるものであるという。従って完全に管理された養殖ふぐには毒は出ないと言われている。

大阪南海電車沿線の岸和田に「ふぐ博物館」がある。館長北浜喜一氏の名刺には、日本ふぐ研究会会長、ふぐ料理北浜流宗家、株式会社趣味の喜太八会社長、日本文化研究会とある。今年のふぐ記念日、２月９日、ＮＨＫラジオが此の道一筋の人を紹介している番組に出演された。早速お訪ねし、展示品など見せていただいた。83歳。ふぐ毒の実地研究の成果を踏まえて各都道府県へのアドバイス、政府機関への提言など現役でご活躍である。此の様な情熱が今なお矍鑠となさっておられる元気の源であると理解しました。ご興味のお有りの方は博物館をお訪ね下さい。

一度は訪ねてみたい「ふぐ博物館」

ドイツの楽しい仲間達

友岡　賢二(平元年商)

ドイツは、私の第二の故郷です。私が知り合った愉快な友人達のエピソードをご紹介します。

①キューターさん　当時うら若き独身ＯＬであった彼女は、早くも幼い頃の夢を叶えた女性でした。その夢は､自分の馬を飼うこと｡週末は森の中を駆け巡り、夏休みはボーイフレンドと馬を連れ海岸沿いのコッテージで過ごす。普段の生活は質素そのもの。馬と一緒に過ごせる時間が一番幸せ、という彼女を見ているだけで、私も幸せな気分になったものです。私に馬の乗り方と、幸せの見つけ方を教えてくれた友人です。

②アダムさん　私の上司であった彼の実家はワイナリー。近くに出張する際は、いつも彼のお宅にお世話になりました。一面広がるブドウ畑。地元の人達だけで消費される小さなワイナリーと併設された瀟洒なレストラン（写真)。そこに集う地元の人々の陽気な笑顔。「会社をリタイアするのが今から楽しみ」と語る彼。アタッシュケース抱えて世界を股にかけ仕事をすることが憧れだった私に、人生の愉しみ方を教えてくれた友人です。

③マレックさん　ドイツ人はそもそも社会活動に熱心ですが、彼（写真右端）は、本当に行動的です。3月11日の震災後、彼がサポーターとして活動しているサッカークラブチームを動かし、イベントを開催し、多額の寄付金と熱い思いを被災者に届けてくれました。彼は日本とドイツの絆を更に発展させたいという思いから、サッカーを通じたハンブルグと大阪の高校生の交流活動を推進しております。他者に関心を持ち、社会をより良くすることにエネルギーを傾け、そして何よりも行動することの尊さを教えてくれた大切な友人です。

ドイツ人は情に厚く友情の絆は今でも続いております。また私のドイツへ寄せる思いも続いております。ドイツで生まれた息子を神戸ドイツ学院というドイツ系インターナショナルスクールに通わせ、私自身は神戸日独協会の会員として日独の友好活動を支援しております。ビール大好き！ワイン大好き！ドイツ大好き！

暑中お見舞い申し上げます

昭和コンサルタント(株)
昭和ビルディング(株)
代表取締役　不動産鑑定士
尾下　千明
昭47年 法

(株)小野工務所
代表取締役
小野　雄二郎
昭46年 文

阪急阪神第一ホテルグループ
株式会社阪急阪神ホテルズ
相談役
河田　一彦
昭42年 商

税理士
安東　世顔
〒650-0004　神戸市中央区中山手通３丁目12－６
TEL.078(251)3700(代表)
昭35年 政経

弁護士法人　中央総合法律事務所
弁護士 岩城　本臣　昭44年 法
弁護士 加藤　幸江　昭44年 法
弁護士 森　真二　昭45年 法
〒530-0047 大阪市北区西天満2－10－2　幸田ビル11階
TEL 06(6365)8111　FAX 06(6365)8289

産経学園講師
旧街道研究家
北原　仁巳
昭36年 法

株式会社 パステル　「駐車場のことなら何でも」
代表取締役
石戸　稔
〒541-0059　大阪市中央区博労町4丁目7－3
船場アレックスビル7階
TEL.06(6253)8814　FAX.06(6253)8815
昭55年 法

皮膚科　大塚ビル診療所
大塚　治
TEL.06(6633)0207
特別賛助会員　稲雲俳句会

株式会社 財産プランニング研究所
代表取締役・不動産鑑定士
熊澤　一郎　昭51年 商
〒560-0011 豊中市上野西1丁目10番7号
TEL.06-6854-0002　FAX.06-6849-3355
E-MAIL:i-kumazawa@z-plan.jpn.com
〒541-0041　大阪事務所
大阪市中央区北浜1丁目5番5号 大阪平和ビル6階
TEL.06-6229-0050　FAX.06-6229-0051

インテリアコーディネイト ISAMU
代　表
稲部　勝博
〒543-0024 大阪市天王寺区舟橋町８－３
TEL.06(6768)0717　FAX.06(6768)2501
mail　katsuhiro.inabe@gmail.com
昭60年 商

大塚商事株式会社
代表取締役
大塚　征慈郎
昭38年 政経

ヴォーカル・司会
小泉　じゅん子
TEL.090(8799)5011
mail　junko_k_0807@cube.ocn.ne.jp
昭47年 文

井上　光労務サポートオフィス
二代目社長専属社労士
井上　光　昭55年 商
〒532-0003 大阪市淀川区宮原１－７－７
新大阪メディカルプラザ２階　ＡＺ合同事務所内
TEL.06(6392)1139　FAX.06(6392)1369
mail　hikaru-runner@inoue-romu.jp
HP　http://www.inoue-romu.jp/

結婚相談所　CLASSY
無料相談をしています
大西　平一　平4年 政経
TEL.06(6131)5152　携帯 090(1676)0201
HP:http://koisurukekkon.net/
mail　classy@sky.plala.or.jp

株式会社インターグループ 代表取締役会長
大阪商工会議所常議員
アジア太平洋機械翻訳協会副会長
小谷　泰造
昭32年 文

原発事故を風化させるな

釜我　昭(昭35年法)

「天災は忘れた頃にやってくる」。それは2011年３月11日14:46でした。

この日を境に日本はもとより世界中が大自然と制御不能な核に畏怖の念をいだきました。これらに関連する新聞記事を追ってみました。

まず、昨年３月12日の朝刊の見出しです。

東日本で巨大地震　東北M8.8　国内最大津波で街壊滅

原発炉の圧力異常　福島第１　放射能漏れる恐れ

福島原発冷却できず　周辺３キロ住民に避難指示

仙台沿岸300人水死体　首都圏で帰宅難民

社説は「未曾有の巨大地震　救援に全力を注げ」「救出復旧に総力挙げよ」でした。

続いて記事をいくつか拾ってみます。

・３月14日夜　東電は福島第１原発の職員全員を退去させる方針を政府に打診していた。

現地での作業継続は困難。その時点で高濃度の放射線被曝が避けられないと判断した。東電は原子力災害に発展する可能性を認識していた。

・３月15日午前４時過ぎ　菅首相は東電の清水社長を呼び「撤退はありえない」と通告。東電本店を訪れ「東電がつぶれるということではなく、日本がどうなるかという問題だ」と迫ったという。

多くの義援金が寄せられました。環境に対してもみな高い関心を持ちました。

～ 100億円押されて川柳初投句（自作）

～ 100億円早く届けよ人の善（自作）

～ CO_2と放射能　人はどちらを選ぶだろう（自作）

世界からの反応がありました。

ＥＵは５月25日、域内の原発143基のすべてについて６月１日から安全検査を行うと発表しました。地震や洪水のほか高温、豪雨、飛行機の墜落、付近のタンカーの爆発まで「テロに比肩する損傷」を含めて検査を行うとしています。

イタリアの建築家レゾン・ピアノ氏はこう語っています。「放射性廃棄物を残さない核融合の技術があと40年もすれば実用化されると信じているし、その為の研究は必要だ。だが、何千年も放射能が残るウラン等、核物質を扱う現代の原発はやはり危うい」

人類が制御不能な核にいつまでも頼っていては人類滅亡の危機も考えなければならなくなるでしょう。新聞を３ヶ月分づつ保存して丹念に読んでいます。この３ヶ月分の新聞の山を押し分けながら出来事の「本質」を考える時間を持つことが出来ました。

最近の記事を拾ってみましょう。

６月13日　脱原発748万人署名　作家大江健三郎さんら　衆議院議長に提出

６月14日　「大飯再稼働再考を」　民主119人が署名　小沢元代表や鳩山元首相も

６月15日　太陽光発電所群　350億円で　世界最大級　カナダに　大ガス、三菱商事、シャープが建設・運営

６月16日　大飯原発　再稼働決定　福井知事が同意

６月17日　世論かわし再稼働実現首相会見こだわり　再稼働候補に泊・川内・志賀・伊方

７月11日　「輸出の最前線で今」

世界30か国・地域で427基の原発稼働中　事故後　原発の是非をめぐる政策が定まっていない中で日本の原発ビジネスに変化の兆しが見えない。政府が原発ビジネスに力を入れるのは世界で原発需要が増加し、「世界的に進んだ技術力を持つ日本にとっては巨大な商機」と映るからだ（経産省）　国内メーカーにも後戻りが難しい事情がある。あるメーカー首脳は「国内の新設は難しい。海外でどこまで伸ばせるかだ」と話す。

あの震災は私たちに何を教訓として残したのでしょう。過酷事故の最大の教訓はいくら防護対策をとっていても「事故は起こる」だ。国際的な原発の安全原則の一つに「放射性物質の放出から人や環境を守る」とありますが、不可能です。国民は人々の生命、財産を犠牲にして原発を稼働させる事を望みません。日本はふたたび被曝しました。

「画題をつける」という写真の楽しみ方

岡本　周造(昭57年社学)

写真①「春眠」

写真部の活動がスタートして一年が過ぎた。台風の影響を受けたこともあって撮影会はこれまで３度だが、いつも10名前後の方にお集まり頂き楽しく撮影している。撮影の前に10分足らずのレクチャーをし、撮影の基本を学んでもらった後、三々五々に撮影をする。作品を見ると奇抜な発想で撮影しておられる方もいる。改めて写真の奥の深さを痛感するとともに色々な視点があるものだと感心させられる。自由な発想と視点は大歓迎だ。

では発想と視点を大事にしてどうやったら思い通りの写真が撮れるのだろうか。カメラか？それとも撮影技術か？カメラはどのメーカーのカメラも機能的には大して差は無い。同じスペックを使えば同じような写真が撮れる。技術は年々向上しているから容易に「上手い写真」は撮れる。撮影技術・・・例えば絞りでボケ味を作る、露出補正してイメージ通りの明るさにする、ISO 感度を変える、構図を工夫するなど。こういった写真の基本を押さえることで写真はだんだん「いい写真」になってくる。

「上手い写真」ではなくて「いい写真」ってどんな写真？「いい写真」とは「見る側が撮る側の撮影意図を理解できる写真」ではないか、と私は思っている。とすれば写真の作品を通して「何を表現しようとしたか」がいい写真を撮るポイントになる。写真だけではそれはわからない。したがって写真展であればタイトルが、そして作品であれば画題（テーマ）が写真で表現したかった事を判断する言葉になる。ただ画題をつけるために写真を撮る人はいない。多くは撮影した後に写真を見てつけられ、コンテストに出品する時には必須となる。

写真①はチューリップを撮影したもので画題は「春眠」。公園に咲いていた淡いピンクのチューリップを見つけて綺麗だな、と思いシャッターを切った一枚である。一輪だけにピントを合わせ、他の花びらをぼかせば柔らかい写真になる、とだけ考えて撮った。後でこの写真を見た時に春の花であるチューリップ、淡いピンクのぼけから春の暖かさと眠気が頭に浮かび、「春眠」という画題がつくかな？と思った。

写真②はスーパーの POS レジのディスプレイの後ろに置かれたぬいぐるみを撮影したもので画題は「かくれんぼ」。通常、ぬいぐるみはピアノの上など、見えるところに置かれる。ところがこのぬいぐるみは隠れて誰にも気づかれないように置かれていたので「何でこんなところに置かれているのだろう？」と思いつつ一枚撮っておいた。後でこの写真を見ると「もういいかい？」「もういいよ！」という声が聞こえてきそうだったので「かくれんぼ」という画題をつけた。

写真②「かくれんぼ」

このように画題をつけていくと撮影者が何を表現したかったかがわかるようになり、見る側にもわかりやすくなる。写真の楽しみ方としては、プリントして飾る、フォトフレームで見て楽しむ、などがあるが、コンテストに出品する、写真展に出品する、といったように人に見てもらう方が写真上達は早い。

大阪早稲田倶楽部の写真部は将来的に倶楽部会員による写真展（合展）の開催を目標にしている。画題をつけられる写真を撮る・・・上達の早道になるとともに撮影のプロセスで自らの発想を活かす一つの楽しみではないだろうか。

紫陽花を撮る

岡本　周造(昭57年社学)

楽しい撮影会

写真部設立から１年、第４回目の撮影会は６月10日に長居植物園での紫陽花の撮影。事前に何度も咲き具合を確認した心配をよそに紫陽花は満開。水蓮他の花も数多く咲いているとあって被写体には事欠かず。11名の方が集まり、簡単なレクチャーの後、三々五々に撮影を開始。今回は香川憲正先輩(昭18年商)を熱心にお誘いしたが、「俺は眼がようないから」ということで残念ながらご参加頂けなかった。しかし奥様の和子様が先輩に代わって参加された。83歳になられるが、足取りもしゃんとしておられ大変お元気だった。お誘いしたことにこちらが恐縮するくらい感謝して頂き、長居植物園という都会の中の自然を満喫して頂いた。

森和彦先輩（昭32年商）も初参加。蒸し暑い日ということで気を遣って頂き、冷たいお菓子を差し入れで頂戴した。感謝とともに持つべきは先輩を実感！約１時間、紫陽花をはじめ各人が個性を活かした作品を作るべくシャッターを押した。紫陽花の花をクローズアップしたものから紫陽花の咲く風景まで・・・。「この花なんや？」という花を撮影した人も。ええじゃないか、楽しければ。蒸し暑かったが実りある撮影会となった。

紫陽花をクローズアップ。
非常にソフトな仕上がりに。

撮影会の後は天王寺のビアホールで打ち上げ。今回が２度目の参加の酒井敏行君（平11年人科）は特大のオムレツと生の大ジョッキを満喫、次回以降の撮影会へのリクエストなどで話が弾んだ。

これまで４回の撮影会は花と花のある風景をテーマに撮影してきたが、現在会員の方々からは、花火、人物、大阪の夕景・夜景、お祭り、街のスナップ、室内でのモノの雰囲気のいいブツ撮り写真の撮影などの要望が寄せられている。これらの要望を踏まえ、老若男女問わず多くの方が楽しんで撮影できる場を提供すべく企画・実施していきたい。今後もどしどしリクエストをお寄せ頂きたい。

尚、現時点では下記の撮影を年内に予定している。カメラ無しの散策も大歓迎！気軽に参加頂きたい。

８月４日（土）花火を撮る（なにわ淀川花火大会を阪神姫島駅付近の淀川河川敷より撮影）

９月23日（日） 彼岸花を撮る（都島区・藤田邸跡公園）

12月中旬　イルミネーションを撮る（大阪光のルネサンスと御堂筋のライトアップを淀屋橋界隈で撮影）

北浜法律事務所
KITAHAMA PARTNERS
弁護士　森本　宏（昭和60年法）
http://www.kitahama.or.jp
□北浜法律事務所・外国法共同事業
〒541-0041 大阪市中央区北浜1-8-16大阪証券取引所ビル　TEL.06-6202-1088(代)　FAX.06-6202-1080
□弁護士法人北浜法律事務所東京事務所
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12サピアタワー14F　TEL.03-5219-5151(代)　FAX.03-5219-5155
□弁護士法人北浜法律事務所福岡事務所
〒812-0018 福岡市博多区住吉1-2-25キャナルシティ・ビジネスセンタービル4F　TEL.092-263-9990(代)　FAX.092-263-9991

暑中お見舞い申し上げます

酒井税理士事務所
税理士　健康管理士
酒井　敏行
大阪市北区天神橋2丁目北2番25号タキガワビル304
TEL.06-6358-6363　E-mail：toshinardo@gmail.com
HP http://office-sakai.biz
ブログ http://plaza.rakuten.co.jp/toshinardo/
平11年　人間科学

校友会大阪府支部顧問
高野　泰明
昭29年 法

SUCRE・TIRER　シュークル・ティレ
Food Coordinator
佐藤　恵津子
URL：http://www.sucretirer.com
E-mail：cscs3103@gmail.com
Mobile 090-9099-3103

平成金属株式会社
代表取締役社長
竹田　雅幸
TEL&FAX.06(6848)1315
mail　heisei@mte.biglobe.ne.jp
昭47年 商

阪急阪神ホールディングス株式会社
代表取締役社長
角　和夫
昭48年 政経

株式会社　宝文社
代表取締役
田中　啓一朗
〒530-0043 大阪市北区天満4－2－3
TEL.06(6352)0456　www.hobunsha.co.jp
mail kei.hob@hobunsha.co.jp
昭55年 社会科学

読売ゴルフ株式会社
取締役総務担当支配人
小林　一則
〒669-1141 西宮市塩瀬町名塩北山
TEL.0797(61)0114　携帯 090(9610)4037
E-mail　koba5128@yomiuri.com
昭55年 政経

ホテル　ラ・スイート神戸ハーバーランド
代表取締役社長
関　寛之
www.l-s.jp　　seki@l-s.jp
平8年　理工建築

1913年
大正2年創業　田中建設(株)
取締役会長
田中　宏
昭33年 文

不動産鑑定士
齋藤　誠
齋藤不動産鑑定事務所 代表
〒662-0044 兵庫県西宮市平松町5－26－302
TEL 0798(32)0851　携帯 090-7483-1292
E-mail：m-sait@max.hi-ho.ne.jp
平５年 商

東寺真言宗 大僧都
四国八十八ケ所霊場会 公認先達
西国三十三所札所会 公認先達
田尾　秀寛
090(2351)3927
mail　tao6637h@m5.kcn.ne.jp
昭44年 商

東京製綱株式会社代理店　崎島商工株式會社
取締役社長
綱田　健次郎
本社　〒550-0021大阪市西区川口4－8－16
TEL.06(6581)0121 FAX.06(6581)0125
mail sakisima@ninus.ocn.ne.jp
昭46年 社会科学

Disney HOME SERIES
Produced by SUMINOE
© Disney
ライフスタイルを創造するインテリア商品の総合メーカー
住江織物はディズニーシリーズを初めとして個性あふれるインテリア商品をお届けしてまいります。
代表取締役社長　吉川　一三（昭和45年商）
SUMINOE
住江織物株式会社　http://suminoe.jp/interior
本社　〒542-8504　大阪市中央区南船場 3-11-20　TEL 06-6251-6801

俳句会一年の歩み（第504回～第506回）

四月句会　2011年4月19日

兼題：花一切、春風、鳥の巣

明けてゆく野へほのぼのと桜かな
病室の春暁見んと身を起こす
浩一郎

魚市に活気を呼びし初鰹
押し並べて瓦礫となりぬ春の地震
城　洋

春風となる震災の子の笑顔
ペダル踏む足の軽さや春の風
こうじ

水底に都ありとや亀鳴ける
闇ふかき山河にありて花を待つ
傀　舟

靖国やお堀静かに花じゅうたん
花の山折詰めうれし万華鏡
隆

お見舞は紙風船に潮風山風
病室に菜の花一輪直ぐと立ち
巌　風

昨年は亡き友と歩きし花の道
桜散る今年は憂ひのせて散る
いっこう

一山は占領されて竹の秋
ふらここのまだ揺れ止まず秋津島
こうき

天守閣花見の宴に喉鳴らし
庭石の苔生き還る春の雨
倚　偶

竹生島墨絵のやうに春の湖
安治川に花びらひとつ流れゆく
けんじ

奥琵琶や海津大崎花見舟
鷹の巣の下を漕ぎゆく渡し舟
洛　童

白累々木曾は山中花馬酔木
義仲公旗揚げ跡や白馬酔木
大　地

大川は西も東も花の道
巣作りの空たかだかとこうのとり
治

花冷やマッチの焔匂ひくる
春風やつるりとむける茹で卵
富美子

春風や島に小さき造船所
花衣今年は袖も通さずに
喜　代

みどり児の頬にひとひら花の下
遍路より土産はわらび束二つ
京　子

花吹雪てふ天空の散華かな
近江富士隠して浦の花満つる
廣　子

今朝採れの土筆を和へて客の膳
元禄とある手水鉢水温む
青　城

五月句会　2011年5月17日

兼題：更衣、粽、薔薇

恢復に解いて粽の白さかな
若き日のものなつかしみ更衣
浩一郎

野辺の墓群り咲ける鉄線花
緋の色の薔薇一輪がテーブルに
城　洋

祭終へ飾粽の京町屋
只者と思へぬ人と粽解く
こうじ

いまもなほ愚兄賢弟粽食ぶ
更衣洗ひざらしに日の匂ひ
傀　舟

同窓会秘かにばらを買ひし日よ
目が合ってにっこりとする更衣
隆

学童の身軽くなりて更衣
風薫る学童の背や白き波
倚　偶

重ね来し年の重さや更衣
佳き人に会ふかもしれぬ更衣
こうき

巫女が舞ふ三輪の神山更衣
面白く粽解くなり団地の子
いっこう

豆ご飯にほひほのかにただよへり
飛騨川や山藤の今盛りなり
けんじ

青き目の素足下駄ばき鴨河原
夏霞湖上に浮かぶ近江富士
洛　童

山若葉全山緑こぼれんと
ブランコの鉄の匂ひや過ぎし時
大　地

大輪の白薔薇浮かぶ夕明り
風騒ぎ色混じり合ふ薔薇花壇
美和子

恙なき身のしみじみと更衣
畳紙に亡き人の名や更衣
治

決断や薔薇一輪を剪りしとき
薔薇の香の濃く流れゆくひと日かな
富美子

結はへられ粽きりりと整ひぬ
二の腕のまぶしき白さ更衣
喜　代

薔薇の花若き二人は夢も見し
震災の跡に薔薇咲く希望かな
京　子

凛然と派る薔薇の七分咲き
咲き満ちて舞踏会めき花そうび
廣　子

手びねりの皿に粽を盛って出す
思ひ出の薔薇が今年も満開に
青　城

六月句会　2011年6月21日

兼題：紫陽花、黒南風、鮎

小さき闇抱いて紫陽花なりしかな
黒南風や太き眉挙げ沖のぞむ
浩一郎

渋団扇親父の気骨衰へず
渓わたりざわめき寄する青嵐
城　洋

囮鮎ただ流水に身をまかせ
雨垂れを溜めて揺るるや額紫陽花
こうじ

黒南風や撓みゆるさず舫ひをり
黴の香の過去帳黙す檀那寺
傀　舟

紫陽花や番傘似合ふ京女
鮎飛びて歴史をつむぐ鵜匠の技
いっこう

さまざまの名あり色あり七変化
紫陽花や神戸は坂の多し街
こうき

穢れなき鮎の瞳に山河あり
竿上げて川面の鮎や面喰ふ
倚　偶

川浚へ土手に座りてたばこ吸ふ
呵呵と笑ふ整列したるアマリリス
けんじ

目の眩む梅雨の晴間の交差点
釣人の股間を抜ける鮎一尾
洛　童

朝靄にかりそめ白き沙羅の花
夏炉には冷たき地酒木曾の夜
大　地

雨降るな濁るな明日は鮎びらき
紫陽花や口縄坂は雨のなか
治

黒南風や一寸気になる心電図
軒庇擦りバス着きぬ鮎の里
富美子

鮎の宿二階に梯子鳴りにけり
さし芽より育てし四葩うす紅に
喜　代

黒南風に光る棚田の水面かな
黒南風の中をさまよう日本丸
京　子

山里に人恋ふ如く河鹿啼く
黒南風の不穏漂ひ落ち着けず
廣　子

夕影の濃き紫陽花や谿の宿
朝まだき白壁映す代田かな
青　城

俳句会一年の歩み（第507回～第509回）

七月句会 2011年7月28日

兼題：雷、暑さ、ナイター

暑さうな京をテレビに見て家居
涼しさや今日といふ日のをわりゆく
浩一郎

向日葵の高く咲きけり無人駅
山門をくぐりて仰ぐ雲の峰
城　洋

ナイターの気勢車内へ延長戦
ナイターやあと一球の大声援
こうじ

三伏や御諸におはす酒の神
暑き日の耀歌の地とや人語絶え
傀　舟

藍浴衣虎染め抜いて甲子園
今日も又昼寝のあとの缶ビール
いっこう

車窓より大和国原青田風
突き抜ける青き空あり朝涼し
こうき

闇夜から網戸くぐりし熱帯夜
万葉碑夏鶯に癒されし
倚　偶

白山に日の射し紅のかかりたり
山百合の列車の風に煽られし
けんじ

水打ちて下駄の音する通り庭
立眩み音の絶えたる暑さかな
洛　童

端居して愚痴の聞き役そこそこに
暑き夜余所から聞こゆ痴話げんか
大　地

節電や古き昔を見つけたり
スムージー暑さとろりとピンク色
美和子

大川に暑さも沈む入り日かな
ナイターを斜に眺めてへぼ将棋
治

ナイターの白球を吸ふ深き空
無得点つづくナイター飛行の灯
富美子

すれ違ふエゴイストといふ香水を
遠雷や敬慕の兄の身罷りぬ
喜　代

故郷の三連水車田は青し
被災地に心めぐらす暑き夜
京　子

渡るより眺め涼しき太鼓橋
山門の一直線の風涼し
廣　子

遠雷となりて山小屋動き出す
滝遠く片手拝みに行者行く
青　城

八月句会 2011年8月23日

兼題：朝顔、天の川、墓参

仰ぐ人仰がぬ人に銀河かな
梵妻と娘の話など墓参
浩一郎

開け放つ夜の窓秋の声を聴く
残されし日をひたすらに法師蝉
城　洋

朝顔の咲きつぐ路地の通り雨
落石の行者返しや霧の中
傀　舟

朝顔の絵手紙うれしドイツから
師と仰ぐ老僧天へ流れ星
いっこう

朝顔の伸びのびと咲く空家かな
鎮魂の声張り上げる秋の蝉
こうき

朝顔や自由に生きてただあそべ
微笑て生きて悔いなし天の川
倚　偶

和歌の浦星月夜なり潮の音
紀の海に夕陽沈める挽歌かな
けんじ

奥飛騨路早稲の穂波の揃ひをり
川面立つ霧流れきて河童橋
洛　童

ふるさとの知る人も絶え墓参り
朝顔の一輪を挿し家静か
大　地

朝顔の絞りし紅に染まりたる
ひと雨に朝顔の葉のすかれしも
美和子

父祖の地へ二泊三日の墓参かな
疾く起きて先ず朝顔を数へけり
治

朝顔を塀一面に這ふせ住む
朝顔の数を書き足す絵日記に
富美子

施餓鬼棚細き梯子の懸けらるる
別棟の五右衛門風呂や天の川
喜　代

朝顔は思ひのままに垣根越え
被災地を明るく照らす盆の月
京　子

百日紅縦横無尽なる盛り
朝顔の小振りの紺に癒されし
廣　子

すれ違ふ花火師硝煙にほひけり
村人と挨拶交し施餓鬼かな
青　城

九月句会 2011年9月20日

兼題：秋の灯、花野、爽やか

忘るるといふこともまたさやけしや
爽やかに忘れてよりの余生かな
浩一郎

分け入りて芒の原に溺れけり
飛騨の里萱の軒端の秋あかね
城　洋

青空や自転車を買ふ爽やかに
いま花野決壊の傷癒しけり
こうじ

しつらひの秋の灯もるる京格子
爽やかに一会の握手交したり
傀　舟

ネット本秋の灯遠くなりにけり
秋の灯や赤尾豆単なつかしく
隆

秋燈や金婚夫婦水の如
爽やかに菩薩みつめて無我の境
いっこう

こんもりと遺跡あるらし葛の花
一画の空地ありけりあかとんぼ
こうき

戻り坂下りもあるぞ花野径
秋灯下深さ身にしむ書見かな
倚　偶

二百二十日日ざし一尺入り来たり
芒野やかがやく風に波のごと
けんじ

遠くより眺め眇めて松手入
紫の白と寄添ふ式部の実
洛　童

秋の灯や一人黙して半迦像
秋の灯や味噌を肴に木曾の夜
大　地

名も知らぬ花を花野に摘みにけり
網走や花野の果てはオホーツク
治

重き辞書小さき辞書も秋灯に
秋の灯に拡大鏡を洗ひ拭く
富美子

秋の灯を映す川面やカフェテラス
大花野先行く人を見失ふ
喜　代

露草の心すみきる青さかな
爽やかに声かけあひし散歩かな
京　子

活けられし縦横無尽秋桜
さやけしや水面に映ゆる太鼓橋
廣　子

薮道の葉摺れに聴きし秋の声
残照の山裾めぐる花野かな
青　城

俳句会一年の歩み（第510回～第512回）

十月句会　2011年10月12日

― 嵐山吟行 ― 兼題：嘱目

今日までといふ秋晴の嵯峨野かな
三帝の塚しづもるや秋深き
浩一郎

苔むせる石垣ほのか秋陽射す
秋の陽を受けて眠れる小督の碑
城　洋

故事尋ねゆったり秋の嵯峨野かな
古への世を訪ねたり嵯峨の秋
こうじ

羅漢像百体百様秋の風
渡月橋車夫の呼びかけ茶髪づれ
隆

雲を見る川辺の茶屋で秋惜しみ
秋の暮堰音を聞く想夫恋
いっこう

駅出ればまづはいろはの紅葉かな
陸奥しのぶ万葉歌碑や紅葉山
こうき

身も軽き嵯峨野秋澄む句会かな
柔らかき水の音にも秋の風
倚　偶

祇王寺や障子に映ゆる初紅葉
祇王寺や無常の響き秋深し
けんじ

風と来て嵯峨野に遊ぶ竹の春
秋風に葉擦れさやさや竹小径
洛　童

水澄める堰のさざ波桂川
木の橋と石橋渡る水の秋
富美子

苑来れば木の実時雨のありにけり
櫓の音の大堰川なり秋の水
喜　代

時空こえ琴の音聞こゆ小督跡
古き良き雅の秋や嵐山
京　子

苑内の野路めく風情秋の草
紅葉して分流の堰光りけり
廣　子

水音の数奇屋の庭の薄紅葉
了以像すっくと立てる秋の庭
青　城

稲雲会の面々

十一月句会　2011年11月15日

兼題：七五三、冬紅葉、時雨

街のはや灯しそめつつ時雨けり
湖の灯の時雨るる旅路なりしかな
浩一郎

青空に胡蝶と舞ひて銀杏散る
冬紅葉見降ろす渓の露天の湯
城　洋

落柿舎や一葉残し冬紅葉
山裾の村を隠して時雨かな
こうじ

見舞とて守り袋に紅葉添へ
母と子の夢さまざまに七五三
傀　舟

七五三青い目の子初着物
七五三博士大臣今むかし
隆

富士見えず雨の芦ノ湖冬紅葉
たどりづく城主の墓碑や冬紅葉
いっこう

かすかにも時雨の音や小夜明けぬ
小春日や無為に過ごすも楽のうち
こうき

こぼるるをなごりおしかな冬もみじ
冬紅葉心愉しみ地に眠る
倚　偶

僕が先君先に咲く帰り花
紫尾山に雲かかりたり初時雨
けんじ

鉦の音に座禅終えたる冬紅葉
じいじいとばあばあの添ふる七五三
洛　童

紅葉に笑顔重ねる遍路かな
南無大師橋杭岩の秋紅葉
秀　寛

木曾はもう白化粧の冬紅葉
七五三ぐずる子なだめ写真館
大　地

一杯のコーヒー飲む間の時雨かな
小半時しぐれし土の黒さかな
治

千歳飴よりポップコーン欲しがる子
長男や家紋を背なに七五三
富美子

早発ちの置薬屋に初時雨
しぐるるや湯加減のよき旅の宿
喜　代

北陸路時雨るる峰の墨絵かな
冬紅葉落葉なりても色褪せず
京　子

小春日や弾みて渡る太鼓橋
子規の庭野山の錦織り成せり
廣　子

珈琲店壁を彩る蔦紅葉
草の宿新米ですと夕の膳
青　城

十二月句会　2011年12月20日

兼題：歳晩一切、熱燗

妻を看て過ごせし年を惜しみけり
荒ラ荒ラと闇動いたる寒さかな
浩一郎

地酒酌み語り明かさん長き夜を
車座の地酒に爆ぜし榾火かな
城　洋

なにひとつ去年と変わらず年暮るる
予備校の窓明々と年の暮
こうじ

友来る熱燗並ぶ楽しさよ
朴の木や存在気付く落葉かな
隆

年の暮ひとり忙し古女房
留守居には湯豆腐のあり一人酒
いっこう

熱燗を勧めて愚痴をききにけり
極月や顧みて可も不可もなし
こうき

酒の席何処かで忘れ冬帽子
数へ日や暮れゆく街のエレベーター
倚　偶

はく息もことばも白くなりにけり
赤飯のおにぎり天皇誕生日
けんじ

熱燗や残業終えて上司部下
熱燗を注いでは扒む耳の朶
洛　童

紅葉と瀬戸海眼下雲辺寺
秋の空海と重なる御蔵洞
秀　寛

去年今年しんしんと雪陸奥に
寒菊の一輪香る芭蕉庵
大　地

歳晩や煩悩といふ渦の中
熱燗や外は前線通過中
治

約束を果せぬ悔や年の暮
北国から珍味届いて熱燗に
富美子

嫁入りの荷に湯婆が確か二個
耳飾り片方失くす年の暮
喜　代

店先に香りこぼれる柚子盛られ
日捲の日毎に薄くせかされし
京　子

何事も起きぬ俥日向ぼこ
一木の高さは広さ銀杏散る
廣　子

枯すすき背に夕霧の墓あはれ
熱燗に毒舌さゆる友であり
青　城

俳句会一年の歩み（第513回～第515回）

一月句会 2012年1月17日

兼題：新年一切、雪女郎

夜のチャイム覗けばをりぬ雪女
人みなの淑気まとへる朝かな
浩一郎

亡き妻の膳にも添へし祝箸
大地より色を集めし寒牡丹
城　洋

月薄し木立の陰に雪女
街灯の消えし路地裏雪女
こうじ

千木伝ふ熊野鴉や宮の春
雲一朶白く耀ふ初御空
傀　舟

穭枯る踏みしめ歩く心地よさ
雪づりを透して見ゆる湯のけむり
隆

祖父の字に歪みもありて祝箸
初みくじでっかい夢に小の吉
いっこう

運勢をちょっとみてみる初暦
雪をんなかはして単身寮に入る
こうき

全身を自由にのばせるめでたさよ
初風呂や浮世の話に耳を立て
倚　偶

御降のどろんこの中キックオフ
好物のごまめ食ひたし歯の痛し
けんじ

京友禅仕上げに潜る寒の水
初糶を賑わす大間の鮪かな
洛　童

満願の雪踏みしめて奥の院
初春の青空のもと那智の瀧
秀　寛

初凪や沖つ島見ゆ能登の海
御降りや閉じ込められて蕪村集
大　地

開け放ち今年の風を入れにけり
雪女迫る気配のしじまかな
治

透き通る山の大気に雪女郎
故里にふらりと帰る雪女郎
富美子

読初の頁進みて夜も更けぬ
境内の広し八日の初詣
喜　代

病室を明るくつつむ初日かな
初吟に亡師の教え生きてをり
京　子

月冴ゆる原始の森を照らす如
とんど焚く煙をかぶりかぶりして
廣　子

墨の香の部屋にこもれる初硯
威儀正し楷書で記帳初詣
青　城

二月句会 2012年2月21日

兼題：春寒、実朝忌、梅

梅が香や椹にかかる月青き
春寒や風のどこかが弾みゐて
浩一郎

やや閑けし味を噛締む蕗のとう
せせらぎの音のみありし春浅く
城　洋

白雲の影石段に実朝忌
露天風呂湯気に映りし野梅かな
こうじ

身ひとつの意のままならず春寒し
曲り屋の土間のがらんと春寒し
傀　舟

ケーブルカー雲浮かび雪樹の帽子
春よ来いネットラジオにネット本
隆

雪解やはじける子らのボール蹴り
実朝忌歌集たずねて古書のまち
いっこう

紅梅のふるへるほどに風強し
春寒し道の日向を選びゆく
こうき

薄氷の光りひしめき張りゆるむ
老梅のひかえめに花色をなし
倚　偶

春浅き病室からの天守閣
病牀にありて初音を聞きしかな
けんじ

朝刊の指に伝うる余寒かな
青い目も福を願ひて初午に
洛　童

年明けて逆打ち遍路大窪寺
大銀杏寒に耐えたり八百年
秀　寛

語り尽くし嫁ぐ娘と春を待つ
椅子堅し尻が覚える寒き春
大　地

大宰府は三分ばかりと梅便り
春寒に背を丸めし立ち話
治

砕け散る波音寒し実朝忌
春寒やごとりと鳴りし錠の音
喜　代

京菓子を懐紙にくるみ実朝忌
旅の宿黄色水仙はなやぎる
京　子

梅林の森閑として鹿の歩す
舗装路に瑠璃を散りばめ犬ふぐり
廣　子

庭の梅あるじの柩見送りぬ
柏手の響ける路地や春寒し
青　城

三月句会 2012年3月27日

兼題：雛、蛇穴を出づ、お水取

春寒や稿に手入れてきりもなし
お水取り待てるくらしも古りにけり
浩一郎

霞立つ大和三山覚めやらず
北窓を開きて心新たにす
城　洋

亡き母の文字の残れる雛の箱
法螺貝に松明走るお水取
こうじ

一隅に人形塚や雛の寺
紀の浦の雛流す日や沖の凪
傀　舟

春光を掬い上げたる清水かな
また同じ人に会いたり梅の段
隆

お水取吉もらわんと火粉受け
東風吹くや天の橋立松ゆれて
いっこう

菓子置いて茶にしますかと春炬燵
小さくも母手作りの雛といふ
こうき

お水取闇に明りの行ありて
二月堂明けゆく庭の雪あかり
倚　偶

退院し菊根分けする昼下がり
春の雨ぼんやりと見ゆ大和川
けんじ

春眠の至福のときやあと五分
日ノ本に真の春呼ぶ修二会かな
洛　童

松明の火の粉喜ぶお水取り
紅梅も白梅もあり島遍路
秀　寛

嫁がせて寂しき家に雛飾り
永平寺残雪踏みて僧の列
大　地

桃活けて雛なき老の節句かな
水取に火を振る僧の脛あらは
治

雛の客も雛も古りてしまひけり
やはらかき紙をお顔に雛納
喜　代

あふれでる笑顔子の声雛祭り
お水取時をつなぎし重みかな
京　子

雨の去り天地いっきに春めけり
白刃の碑城の一隅彼岸寒
廣　子

海展け菜の花明かり岬鼻
早春の少女素足でスキップす
青　城

早稲田摂陵を訪問

浅井　佳穂(平17年教)

大阪早稲田倶楽部が５月の総会で新体制となったことを報告するため、人見亨会長ら５人が６月28日、早稲田大学系属早稲田摂陵高（茨木市）を訪問、同高を運営する早稲田大阪学園の藁谷友紀学園長らと物心、人事の交流をさらに拡大させることで一致した。

倶楽部側は人見会長のほか、野村公平理事長、中西克昌事務局長、校友会大阪府支部幹事長を務める小林一則理事、関西演劇文化研究会担当の浅井佳穂理事が出席した。

同学園の三木基司常務理事から同高が系属となった経緯、現状、運営上の課題などの説明を受けた。その後、同じ敷地内で同学園が運営する向陽台高を含め、施設を見学した。

また、早稲田摂陵中高の安元祥二校長らも加わり、連携策を検討。倶楽部会員が勤める企業の社会見学や、校友会支部や関西演劇文化研究会が中心となって進めている伝統芸能・文楽の学校公演などを進め、将来を担う子供たちとの交流を深めていくことが決まった。

出　版

起業の心得などについての本を出した酒井さん

倶楽部会員の酒井敏行さん(平11年　人間科学）が「税理士が教える　起業・会社経営Ｑ＆Ａ」(ＴＡＣ出版、1200円・税別）を著した。

著者は酒井さんをはじめ会社経営をサポートしている税理士４人で、実際の経営者らからの質問をもとに一冊にまとめた。起業にあたって資金調達や会社の税金、経理など４章に分かれ、酒井さんは冒頭の「起業の心得と手続き」を執筆。26の質問を用意し、わかりやすく答えている。

その一つ「成功する経営者像」について、「ビジョンが明確であり、そのビジョンに向かって突き進む行動力があり、いい人脈を大切にする人」とし、①会社を作って、②どう発展させて、③発展させた先にどうしたいか。３手先くらいの目標を持つことが大事、と説いている。

サブタイトルに「独立希望者必見　面白いほど理解できる」と記している通り、起業を考えている人向けの格好の入門書といえそうだ。

ディナーショーへのお誘い

小泉じゅん子(昭47年文)

日頃は大阪早稲田倶楽部の活動にご協力を頂き、ありがとうございます。

さて私、司会を始めて20数年。その間、2006年、2011年に大阪新阪急ホテルでディナーショー(昨年はアコーディオンの杉村寿治氏とジョイント)を始め、歌の活動もしてまいりました。ここ数年はライブハウスにもよく出させていただくようになり、2009年9月からは「みんなで歌う　歌声サロン in シィーファー」で、ソングリードとトーク。司会に歌に活動しています。

そして今年9月20日(木)の18:30から、ホテル阪急インターナショナルで、ホテル主催での「小泉じゅん子ディナーショー　夢の花束　感謝をこめて」の開催となりました。

機会をいただいたからには何とか成功させたく、皆さまのご支援をお願いする次第です。

会場はホテル一番のゴージャスな「紫苑の間」で、ホテル自慢のフルコースディナー(プリードリンク)、釋恵一with プルミエレスポワールの素晴らしい演奏で私の歌をお聞き頂き、楽しい夜をお過ごしください。私の中で眠っていた宝塚歌劇団(声楽専科)出身の母の血が、目覚めています。亡き母始め、今まで出会った全ての方に感謝をこめて、歌わせて頂きます。料金は18,000円(全席指定)です。

オリジナル2曲の内の1曲は校友会大阪府支部長の角和夫氏作曲です。素敵な曲ですのでこちらもお楽しみに、ぜひぜひお出かけくださいませ。なにとぞ宜しくお願いいたします。皆さまのお越しを心からお待ち申し上げております。

※ディナーショーのお申し込み・お問い合わせは
①か②のどちらかにお願いします。
①ホテル阪急インターナショナル
TEL：06-6377-3608（イベント係：10:00～17:00）
②小泉じゅん子
TEL：090-8799-5011
Eメール：junko_k_0807@cube.ocn.ne.jp
大阪早稲田倶楽部副理事長／「歌声サロン in シィーファー」部会長

暑中お見舞い申し上げます

みんなで楽しくWフォーラム
豊島　惠子
昭52年　法

橋本設計事務所
代表
橋本　隆彦
mail　ta.hashi@nifty.com
昭52年 建築

モノつくり事業協同組合大阪支部
外国人技能実習生受入事業
森本　真史
TEL.06(6910)0014　FAX.06(6910)0026
E-mail:smorimoto@monotsukuri.or.jp
昭60年 社会科学 体育局柔道部

校友会奈良県支部 支部長
(株)中島弘文堂印刷所　代表取締役
中島　敏行
〒537-0002 大阪市東成区深江南2－6－8
TEL.06(6976)8761
昭44年 政経

日本メッシュ工業株式会社
営業本部　勤務
林　仁
TEL.072(250)0554
mail　m.－hayashi@nihon-mesh.co.jp
特別賛助会員

ヤブモト工業(株)
取締役社長
藪本　光彦
昭46年 法

株式会社日進運輸サービス
一般区域貨物自動車運送業　自動車運送取扱業
代表取締役
中西　克昌
本社　〒578–0901 東大阪市加納５－14－７
TEL.072(800)7310　FAX.072(800)7311
昭53年 社会科学

株式会社　竹中工務店
顧問
人見　亨
mail　thitomi821@yahoo.co.jp
昭45年 理工

山原　一晃
昭37年 建築

西田経営会計事務所
税理士
西田　隆郎
〒530-0041大阪市北区天神橋5－7－10 さかしん天神橋ビル5階
TEL.06(6351)2033　FAX.06(6353)0892
http://tn-kaikei.jp　mail nishida@tn-kaikei.jp
昭47年 商

三菱重工冷熱システム株式会社
細谷　一郎
mail ichiro1_hosotani@macs.mhi.co.jp
昭44年 法・ア式蹴球部

横山　昌弘
昭32年 法　剣道部

野村総合法律事務所
弁護士
野村　公平
昭47年 法

株式会社クラレ
相談役
松尾　博人
昭33年 法

和田総合会計事務所
株式会社豊能計算センター
所長　税理士
和田　浩孝
〒560–0021 豊中市本町７－４－１８ 和田ビル
TEL.06(6849)5631　FAX.06(6848)1337
mail　hiro－m.wada@tkcnf.or.jp
平1年 教

教養と語学力を測る――国際ビジネスに活かせる新語学検定がスタート

GSLAT
国際知識語学検定

- 語学運用能力と国際教養、知識の習熟度を測定
- 英語・中国語
- 受験地:仙台・東京・名古屋 大阪・広島・福岡

TOIFL
通訳検定

- 語学力と通訳技能の測定
- エントリー・セミプロ・プロの認定
- 英語－日本語、中国語－日本語
- 受験地:仙台・東京・名古屋 大阪・広島・福岡

(一般社)外国語通訳検定協会（FLICA）

代表理事	谷内正太郎	元外務事務次官
理事	小谷泰造	㈱インターグループ会長
	蘇　徳昌	前復旦大学教授
	谷口智彦	元外務副報道官
	西原　正	平和・安全保障研究所理事長
	宮本雄二	前駐中国特命全権大使
監事	兼元俊徳	元インターポール総裁

詳細は下記にて確認ください。
URL―――http://www.flica.or.jp
電話　03－3584－7739

疎水に映える桜と菜の花

時枝　奉之(昭45年院・理工研)

見事な花吹雪でした（インクライン）

疎水に映える桜と菜の花
カラーでないのが残念

意外に疲れた東山越え

４月のお花見は、今年も桜の雰囲気に風情がある京都にしました。今回は多少趣を変えて疎水に映える桜をテーマにして、山科から琵琶湖第一疏水に沿って歩き東山を越えて蹴上、白川へのコースとしました。

４月14日 (土) は朝は小雨がパラつく天気であったが、昼からは晴れる予報なので決行した。JR 山科駅に17名 (女性３名、男性14名) が集合してスタート。花見の時期とあって多数のグループが集まっていた。先ず琵琶湖第一疏水のトンネルの出口に向かう。疎水のトンネルの出口は予想以上に大きく立派であり、水路の幅も広くて我々と歩調を合わせる様にゆったりと流れていた。疎水の両岸にはソメイヨシノが植えられており、散策する人々に混じって桜を楽しみながら歩を進める。菜の花が植えられている所では桜のピンクと菜の花の黄色、そして疎水の水が見事なコントラストを見せていた。しばらく行くと左岸に天智天皇陵があり北原先生が説明して下さる。天智天皇の陵は奈良にあるとばかり思っていたので、こんな所にあるとは意外であった。疎水に映える桜を十分に楽しんだところで山の谷橋着。ここから疎水はトンネルで東山を抜けるので、我々は疎水と分かれて七福思案処の峠越えで東山を越える。

疎水を散策していた人々は地下鉄を利用するため、峠への道に入ると我々だけになる。この峠の標高は僅か190mなので気楽に登り始めたため予想以上に骨が折れる。標高差が大きいと距離と所要時間を確認して気合を入れて登るので問題は無いが、低い標高差で簡単に着くだろうと何も考えずに気楽に登ると、いくら歩いても峠に着かない様に感じられて疲れを覚える。途中で予定外の休憩を入れて峠着。峠では眺望は無いが天気も回復し広く気持ちの良い場所なので昼食とする。

下りは奥の院を通って簡単に南禅寺に着いた。東山越えは人がいなかったが、此処からはまた人が多い。今年も春先の低温で幸運にも４月中旬が満開であり、この週末が一番の見どころである。南禅寺にはお寺とは雰囲気の合わない立派なアーチを連ねた水路閣が目を引く。この水路閣は標高差を利用して、京都市街の北部に琵琶湖疏水の一部を送る疎水分線のための水路橋であり、規模は小さいが古代ローマ帝国の水道橋と同じ目的の橋である。

インクラインに着くと多くの満開の桜が迎えてくれる。風に乗って花びらが舞う様は見事な花吹雪であり春爛漫を満喫する。集合写真では残念ながら舞っている花吹雪は見えませんが見事でした。疎水記念館で大休止して、勝山さんの案内で白川に沿っていくつかの歴史のポイントを見物しながら京阪・祇園四条駅に着いて、本日のお花見ウォークは無事終了。定番となった見聞録で見事だった桜を肴に楽しく懇談した。

大神神社御神体登拝（三輪山登山）

時枝　奉之(昭45年院・理工研)

こんな装束で登りました（登拝口）

三輪山の標高は467m と低く、写真に示す様にその山容はなだらかな女性的な形状であり、遠くから見ると楽に登れそうであるが、傾斜が緩やかなため登拝道は直登しているので実際に登るとかなりキツイ。ガイドブックでも低い標高ながら「がんばるコース」となっていた。最近三輪山はパワースポットとして有名になったため多くの人が登っている。参加者が多いので斧を入れない自然林の中で何回も休みながら１時間で頂上に着いた。頂上には大きな黒い岩が積み重なっており、神様が降臨する場所の雰囲気である。今回も北原先生に歴史の講義をしていただいた。この山の生い立ちを調べたが資料が無く、黒い岩は玄武岩と思われ均整の取れた山容から火山ではないかと推察される。下山は同じ登拝道を簡単に下り、何も食べていないので空腹を覚えて昼食に適した場所を探す。

三輪山が日本最古の大神（おおみわ）神社の御神体（神体山）であることは知っていましたが、登れると分ったので５月のてくてくハイキングは三輪山としました。登れる御神体の山を調べてみるとかなり多く、その中にはよく知られた山があります。二荒山神社（日光男体山2,486m）、石鎚神社（石鎚山・弥山1,980m）、筑波山神社（筑波山877m）、諏訪大社上社（守屋山1,650m）、弥彦神社（弥彦山634m）等で、富士山も昔は御神体だったそうで富士講が行われていました。昔の自然を崇拝するアミニズムの名残です。

JR 三輪駅に14名（女性１名、男性13名）が集合して三輪山に向かう。御神体であっても自由に登れる山が多い中で、三輪山は厳しく律せられている。先ずこの山に登るのは「登山」ではなく「登拝」である。登拝口で入山料300円を支払い、十箇条の入山心得の説明を受ける。飲食禁止、喫煙禁止、写真撮影禁止、草木・土・石の採取禁止、焚火禁止、ゴミ捨て禁止、トイレ無しなど。禁止事項が多い中で唯一許されているのは水分補給のみである。説明が終わってから手水で身を清め、御幣でお祓いをし、「三輪山登拝証」と書かれた鈴付きの襷を首に掛けてやっと出発準備完了となる。これらの動作も最古の神社の厳粛な雰囲気の中では、皆さんふざけずに真面目にやっていた。入山後は写真が撮れないので登拝口で集合写真を撮る。後方に映っている注連縄が古代の鳥居でありここから登る。

展望台で大和三山を眺めてのどかな大和盆地の景色を楽しむ。耳成山と畝傍山は小さな火山であり、後方には二上山があって大和盆地には小さな火山が点在しているのが分る。広い綺麗な草地を見つけ昼食とした。今回は鶴橋のスーパー温泉で汗を流して懇親会を始めたのは良かったが、値段の割には余りにも内容が貧弱なのに驚き、喉を潤しただけで退散して魚民に移り腰を据えて懇親会のやり直し。何時もとは違ったハイキングの経験を肴に話がはずんだ。

なだらかで女性的な三輪山の山容

平成24年度役員・理事名簿

会　　長	人見　亨	(昭45年理工)
理 事 長	野村　公平	(昭47年法)
副理事長	山澤　倶和	(昭46年法)
副理事長	竹田　雅幸	(昭47年商)
副理事長	稲田　增光	(昭47年政経)
副理事長	小泉じゅん子	(昭47年文)
副理事長	熊澤　一郎	(昭51年商)
監　　事	岩﨑　勇作	(昭47年商)
監　　事	田村　昌之	(昭54年法)
事務局長	中西　克昌	(昭53年社学)
会　　計	和田　浩孝	(平１年教)

新任理事（任期２年）35名

高野　泰明	(昭29法)	
藤原　和	(昭33政経)	
田中　宏	(昭33文)	
松尾　博人	(昭33法)	
片山　善夫	(昭35法)	
北原　仁巳	(昭36法)	
大内　英男	(昭36商)	
山田　純子	(昭38理工)	
森　一貫	(昭40政経)	
勝山　清	(昭42商)	
吉川　一三	(昭45商)	
藤井　俊男	(昭45法)	
関　邦彦	(昭46法)	
野村　公平	(昭47法)	
竹田　雅幸	(昭47商)	
稲田　增光	(昭47政経)	
小泉　じゅん子	(昭47文)	
木下　斉	(昭48商)	
山口　守	(昭51文)	
豊島　恵子	(昭52法)	
尾田　沙智乎	(昭52商)	
中西　克昌	(昭53社学)	
谷崎　整史	(昭53政経)	
島田　隆史	(昭54政経)	
相間　靖三	(昭55理工)	
岡本　周造	(昭57社学)	
贄川　芳郎	(昭57教育)	
三木　基司	(昭61教育)	
滋野　雅之	(昭63理工)	
種田　ゆみこ	(平１商)	
大塚　紹子	(平１文)	
関　寛之	(平８理工)	
深井　光雄	(平15理工)	
八田　禅	(平17文)	
浅井　佳穂	(平17教育)	

表紙の言葉

昨年写真部の活動が始まって一年、撮影前にレクチャーをする。独創的な作品の方もおられるが、自由な発想は大事にして撮影してもらいたい。

表紙の写真は豊中　服部緑地の円形花壇に咲いていたピンクの薔薇を撮影。薔薇は豊中市の市花でもある。薔薇は情熱的で力強さを感じる花だが、力強さを表現するため適正露出より一段アンダーにしコントラストを強調し撮影、薔薇の花に「覇者早稲田」を表現してみた。　岡本　周造(昭57年社学)

平成24年度役員・理事名簿

現任理事（任期1年）38名

山下	和彦	（昭29年法）
楠本	光智	（昭30年商）
横山	昌弘	（昭32年法）
釜我	昭	（昭35年法）
野中	稔	（昭36年理工）
山原	一晃	（昭37年理工）
大塚	征慈郎	（昭38年政経）
野中	民蔵	（昭40年法）
津野	英男	（昭40年政経）
森本	充威	（昭40年商）
加地	道弘	（昭42年商）
三野	正男	（昭42年商）
河田	一彦	（昭42年商）
揚野	寛	（昭43年政経）
小林	哲也	（昭43年政経）
田尾	秀寛	（昭44年商）
中島	敏行	（昭44年政経）
向井	利明	（昭44年政経）
人見	亨	（昭45年理工）
山澤	倶和	（昭46年法）
西田	隆 郎	（昭47年商）
角	和夫	（昭48年政経）
藤原	充	（昭51年商）
熊澤	一郎	（昭51年商）
佐藤	光宏	（昭53年理工）
中司	宏	（昭54年文）
石戸	稔	（昭55年法）
小林	一則	（昭55年政経）
田中	啓一朗	（昭55年社学）
林田	元宏	（昭60年政経）
稲部	勝博	（昭60年商）
竹市	正彦	（平１年理工）
和田	浩孝	（平１年教育）
松浪	武久	（平１年商）
大西	平一	（平４年政経）
前田	修	（平６年政経）
蘆田	知一	（平９年理工）
瀬川	隆行	（平11年商）

Yomiuri
企画 planing
デザイン design
印刷 printing
大阪読売サービス株式会社
〒530-0055 大阪市北区野崎町5番9号
お問い合わせ 制作センター TEL:06-6366-1823 FAX:06-6881-7235 E-mail:seisaku@oys.jp

鉄輪温泉プチ体験湯治

特別賛助会員　林　　仁

今年３月頃？　職場上役の机上に１冊の雑誌が置かれていた。

何気なく見ると､それは雑誌「旅」で表紙を見ると、廃刊となる最終号であった。

「旅」と言えば、年配の旅好きの諸兄ならばご存じであろうか？

自身20代の読み始めたころ「戸塚文子」と言う女性編集長がいた。　この人の多彩な文筆活動に触れこの雑誌を毎号むさぼるように読み始めた経緯がある。

当時は勤務、子育て、兼業農家、休みは日曜のみ、そんなことでなかなか旅が出来なくて、この雑誌に旅の夢を繋ぎ何時か実現したいと切実に思ったものである。

懐かしさのあまり断りも無しに、パラパラと捲ってみると九州が特集されている。　借用。

その中に別府･鉄輪（かんなわ）温泉湯治があった。湯治宿が何軒か詳細に紹介されている。今年初めから非常勤となったので、前々から温泉湯治に、それも行くなら別府・鉄輪と決めていたので勿怪の幸い、ネットで申込をすると即ＯＫの回答あり、４月中旬女房と出かけることにした。

鉄輪は別府八湯の一つ、市内温泉街の西北部、「海地獄」あたりから坂を海に向かって下る一帯に位置し、盛大且つ見事なまでに湯煙りを噴き上げている。血の池地獄に通じる道路高台には「湯煙り展望台」まである。

予約したＹ荘に到着。年期の入った木造の建物、ロビーもない。だが、清潔に掃除の行き届いた、きしむ板張りの廊下。２階の部屋に案内される。いよいよプチ湯治体験の始まりである。部屋は６畳に２畳の畳部屋　トイレは共同。ちゃぶ台、戸棚、鏡台、テレビ（２時間100円のコイン式）炊飯用のお釜、鍋、食器、ポット、と一式揃えてくれている。

建物の真ん中に直径1.5mくらいの煙突状の「地獄釜」が高くあり、蒸し釜がたくさん並んでいる。それを四周取り囲んで部屋が配列されている。

風向きによっては湯気で向こう側が見えなくなるし、独特の温泉の匂い、かすかにゴオーッと吹き上げる蒸気の音も聞こえる。

宿は全部で27室とか。ドイツやフランスからも見えるというが、坂道に建てられているのと増改築を繰り返しているらしく、何回か部屋に戻るのを間違える始末であった。

街を散策。歩く道の排水溝からも盛んに湯気が噴き出している。何故湯気が多いのか？

宿で聞いた話だが、温泉が高温で勢いが強いためであるらしい。いたる所に共同浴場、足湯、蒸し湯があり、大衆演劇場、飲食店、自炊用の何でも揃う衣料品も扱うミニスーパーや魚専門店が何か所もある。どちらかと言えば高年の夫婦がやっておられる店が多く、何か一言二言の会話が楽しい。暖かくて暮らしやすい

のか？猫をあちこちで見かけた。

宿での初の地獄蒸しはご飯炊きから。所要１時間。「火傷に注意必ず手袋をご使用ください」と表示してある。その手袋で蓋を取り穴の部分に釜を入れ蓋をして、「使用中」の木札を乗せておく。　あとは時間管理をしっかりやるだけでよし。ご飯時は一度になるから炊事場は社交場となり、あちこちの言葉が飛び交う。朝晩顔を合わせるから次第に親しく声をかけ情報交換の場ともなる。だがお互い心得ていて、ある一定の距離を保ちながらではあるが。

２～３分で茹上げたホウレンソウと魚屋で買った関アジ(半身刺身､半身焼き魚にしてもらった)での夕食。部屋で賞味させていただいたご飯は甘味があり誠に美味。お焦げなど全く無しであったのは蒸した所以か。　旅に出れば、上げ膳下げ膳を喜ぶ女房も面白いのか喜々として文句を言わない。　私もあまりやりつけない食器洗いを専門にやらせてもらった。風呂は時間により男女が入替わるシステムで、湯量豊富だがシャワーはなく蛇口は一つ。露天風呂もなし。髪を洗うのも不便であるが、それが又昔を思い出させてくれて懐かしい。

［娯　楽］

宿を出ての娯楽は、100mほど坂を登った所に「ヤングセンター」という宿泊、温泉入浴、大衆演劇場が揃った施設がある。　昼夜２回公演。　１泊で「来て観て、夜見て、帰り観て」をキャッチコピーにしている。ということは演目が毎回違うということである。

1200円という安さ（別に貸し座布団300円）に夕食後出かけた。ここのセンターの泊り客はお代がロハとのこと。　舞台は花道が設けられている。

演目は歌謡ショーと時代劇の２本立て。　ショーには20代の？いなせな男優が３人色鮮やかな着流しに見事なメイク。歌がそれぞれに旨い。　何とこのお兄さんたちの追っかけギャルが５～６人　舞台最前列で盛んにペンライトを左右にかざしている。びっくりした。

贔屓をされているのだろうか？　アラフォーの女性が１万円札のおひねりを差し出されるなど盛り上がり、人情劇と股旅ものなど。泣かせ、笑わせ、感激させ、歌舞伎の隅どりや見得を切ってくれたりして、時の経つのも忘れるぐらい堪能させてもらった。

翌日朝から大雨。風呂に入った後は出かけるのが億劫で、ヤングセンターに再び出向いた。。　土曜日で満員。座長が大入り袋を頂きましてと最初に挨拶。歌謡ショーに続いて人情劇。出演者は同じだが、来場が多いからか？　昨日よりさらに熱演のように感じた。

熱演は好演を生む。大袈裟かもしれないが、「演じる」ことの原点をとても大切にしている劇団と思えた。　お代を倍出しても惜しくはないと思えたし、得した気持ちで一杯になった。

鉄輪･･･昔の日本人がしてきた安心感に包まれて、温泉に浸かり、街を歩き人々と会話を楽しむ。この街には湯治客が長く滞在できる便利さが備わっている。とは申せ昔日の賑わいはないように感じたし、鉄輪の街全体がさびれていく方向にあるように思えた。

この３泊４日の「プチ湯治体験」をし、改めて１週間以上の滞在をこの地にしてみたいと思っている。海外も良いが日本の旅・温泉の良さが感じられた。

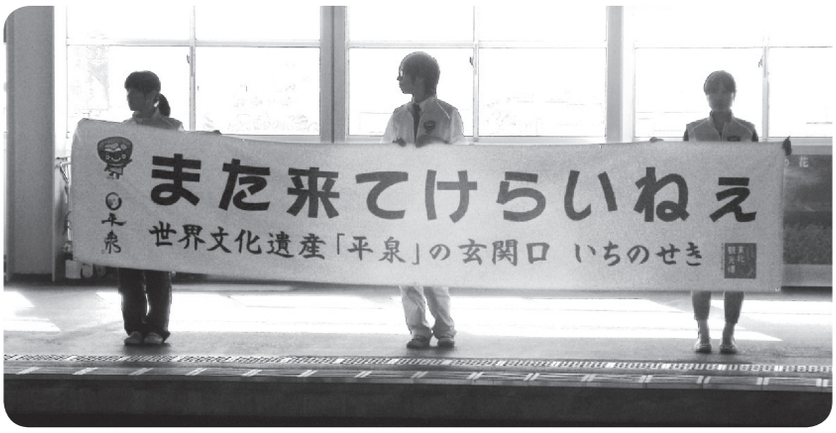
因みに、宿代であるが１～２泊なら素泊まりで３千円台後半　３泊位から１日３千円前半というのが相場のようである。

東北一人旅のご報告

～東北六魂祭・縄文遺跡、そして献血の旅～

酒井　敏行(平11年人科)

５月末の週末、人生初の東北の地に一人旅をしてきました。当初の目的は、主にこの３つ。【東北六魂祭】、【世界遺産の平泉】、そして【写真】をたくさん撮る。



東北六魂祭とは、東日本大震災により犠牲となった多くの魂を弔い、東北の元気を発信し、復興への狼煙をあげるために開催されるお祭りです。昨年は仙台で行われ、第２回の今年は盛岡で行われました。

青森ねぶた祭、秋田竿燈まつり、山形花笠まつり、仙台七夕まつり、福島わらじまつり、盛岡さんさ踊りなど、東北の６大祭りが集結してパレードを展開するお得感満載の復興イベントです。

東北六魂祭で訪れた盛岡市で、献血募集の看板が目に入り、「何で東北で血ぃ抜いてるねん！」と自分にツッコミながら献血をしました。昨年は宮城県に義捐金を贈ったので、今年は岩手県に血を贈ろう！僕なりの東北支援です。

今後、旅先の色々な町で血を提供するという変な趣味に発展しそうな予感がします。

盛岡駅でふと見つけた、『御所野遺跡の世界遺産登録を目指して』というパンフレットに衝撃を受け、世界遺産・平泉に行く予定を急遽変更し、世界遺産予備軍の縄文時代の竪穴式住居を見に行きました。

この寒い東北の地に、竪穴式住居の遺跡が残っている事に衝撃を受け、またマニアックな観光スポットのため敷地に僕以外誰もおらず、いい写真を独占できました。予定を変更しても誰にも迷惑をかけない。これぞ一人旅の醍醐味です！

結局、平泉は駆け足でまわり、写真だけを撮影しましたが、世界遺産よりも感銘を受けたのが、新幹線の一ノ関駅の反対側のホームで、「また来てけらいねぇ」と書いた横断幕を持った地元の方々の太鼓の演奏でのお見送りでした。

よく芸人さんが島に行くような番組で、お別れに島の人達に見送られるシーンがあって、ほろりとするシーンがありますが、私もこのお見送りに感動して泣いてしまいました。１時間の滞在でしたが、このお見送りにあえただけでも平泉に行けてよかったです。

２日間で、東北の６つのお祭りを見れ、縄文時代の遺跡や世界遺産も見れ、おまけに献血までできる。非常に充実した一人旅でした。

今年になって写真を趣味に加えたところ、行動範囲が広がりました。倶楽部にもお気軽に参加できる写真部がありますので、写真に興味を持つ人が増えていただけたら幸いです。

京都・三弘法の復興

田尾　秀寛(昭44年商)

今年はうるう年とあって、四国遍路は大盛況である。遍路の元祖・衛門三郎が弘法大師空海に詫びを入れるために後を追ったが、20周しても会うことかなわず、さすればと21周目に逆打ちを思い立ち、ようやく12番焼山寺の中腹で出会うことが出来た。その年がうるう年であったところから、うるう年にお遍路をすると弘法大師に会えるとか、功徳が３倍だとか云われて人気がある。

したがって、逆打ちと順打ちの両方の遍路バスが出ているため、大盛況となるのだ。

いずれにしても、遍路学の上では今日の遍路ブームを第２次お遍路ブームと捉えている。では、第１次お遍路ブームは何時なのかといえば、江戸の元禄期に遡る。高野聖・真念は、四国を20周して、その体験を元に遍路本を出版した。真念著『四國偏路道指南』、そして高野学僧・寂本に真念が情報提供して書いてもらった『四國偏路霊場記』、さらには自分で書いた『四國偏路功徳記』。この三冊の遍路シリーズが江戸で大ヒット、遍路ブームを起こしたというのだ。それまでの人気は、「お伊勢まいり」と「金比羅詣で」だったというが、それをはるかに凌駕する。

お江戸・日本橋から東海道五十三次を通って京都へ、そして三弘法を廻り難波津から海路、徳島上陸。四国八十八ヶ所を廻り、和歌山へ。高野山の御礼参りの後、山越えして西国１番青岸渡寺へ。西国三十三観音霊場を巡り、33番岐阜・谷汲山華厳寺から中山道を通って帰ったと云う。勿論、各地の名所も巡り、お伊勢も金比羅も詣でるという大旅行だった。

さて、京都の三弘法とは、東寺、仁和寺、神光院の三寺を指す。東寺は嵯峨天皇から永久に預かっている真言宗立教開宗の寺で、弘法大師三大霊跡の一つ。仁和寺は御室御所といわれる門跡寺院。この２寺はなるほどと納得出来るのだが、神光院はさほど名門とは思えない。調べてみると、弘法大師が90日間病気平癒の御修法を行い、帰る時に村人から「何かお印を」と懇願され、本堂前の池に姿を映し自らの像を彫られたという。かってのお遍路さんは、東寺で「菅笠」を、仁和寺で「金剛杖」を、神光院で「納札箱」を授かり四国遍路に出立、御礼参りに高野山に上るのが最上とされたとか。

しかし、昨今のお遍路では、高野山の御礼参りは残っているものの、三弘法参りは一部地方で細々と続いているに過ぎなかった。東寺においても、平成16年から四国霊場の番外札所として復活の名乗りをあげ、「最初に参る寺」「四国道中安全の御札をいただく寺」として復興に努めてきた。そのキャッチフレーズは「88＋２」、つまり「四国八十八ヶ所と東寺と高野山をお参りしましょう」ということなのだ。

三弘法では、十年ほど前から復興を検討し、ようやく具体化、平成24年４月３日東寺御影堂で「復興法要」が営まれた。巡礼者には、弘法大姉の御影が描かれた朱印帳や、それぞれの寺院にちなんだ菅笠、金剛杖、納札箱を描いた木札を授与する。木札には、専用のビニールケースと満願証を用意するとか。

尚、神光院は京都市北区西賀茂神光院町にある。

合　掌

早稲田大学校友会大阪府支部

WASEDA ALUMNI
SINCE 1885

校友会とは

早稲田大学の第１回の卒業生が出た翌年の1885年（明治18年）に発足し、今年で127年になるＯＢ会です。都道府県の支部や地域、職域の稲門会、体育各部やゼミ、サークルの稲門会などのネットワークがあります。大学を卒業すると校友会員となり、国内だけでなく海外にも及び、58万人に上ります。

在学生への奨学金や、大学への寄付講座開設などで支援しているほか、校友の同窓会活動を応援したり、本学のホームカミングデーに合わせて稲門祭を開催するなどの活動を行っています。

校友会大阪府支部

大阪府内に在住、在職する卒業生全員が会員で、約8,000人を数えます。1920年（大正９年）に誕生した大阪早稲田倶楽部とともに校友、会員相互の親睦、交流を図っています。また、大学や校友会の運営に建議、・提言する商議員、代議員の推薦も行っています。事務局は大阪早稲田倶楽部内に置き、校友会本部からの活動費助成のほか、みなさんからいただいている支部会費（年間1,000円）で運営しています。

事　業

校友相互の親睦を図るとともに大学本部との連携・協力、本学学生の支援、社会貢献、近隣地域の校友会や稲門会、早稲田摂陵中高校との連携などを進めています。毎年11月に本学の総長や教授らを招いて講演会を開催。また、進学を目指す生徒や父母、学校関係者らへの大学案内・説明会、さらに在学生の父母の懇談会や相談会などを企画・協力しています。また、東日本大震災では、被災の本学学生らを支援する「ＷＡＳＥＤＡサポーターズ倶楽部」に大阪府支部として100万円を寄付しました。

昨年は11月13日に定期総会を大阪新阪急ホテルで開催し、140人が参加。鎌田薫総長と島善高教授に講演いただきました。また、早稲田摂陵高のＯＧでつくるブラスバンドによる公演も実現しました。今年も下記の通り開催します。

また、地域への貢献、社会への発信の考えから、校友による講演を企画。日本初のエベレスト登頂の偉業を成し遂げた校友の松浦輝夫氏による講演を11月に早稲田摂陵高校で行い、生徒だけでなく地域の方にも聞いていただく講座とします。

関西の伝統の演劇文化興隆の一助にと、大阪早稲田倶楽部内に発足した関西演劇文化研究会の活動も支援しています。校友の親睦を図るためゴルフコンペも主催し、今年も９月に別記の通り開催します。

さらに、大阪府内の職場や業界、地域、クラブ・サークルのＯＢ校友でつくる稲門会とのネットワーク化を新たに図ることにしました。堺・泉州地区懇話会や不動産、ホテルなどの業界、仏教会、学生寮ＯＢ、異業種交流会ほか様々に活動されています。大阪早稲田倶楽部も大きな稲門会のひとつです。これらのみなさんの活動を尊重しながら情報交換や各種案内、相互交流、ホームページのリンクなどゆるやかな形で進めていければと考えています。ぜひみなさまご協力ください。

早稲田摂陵高のブラスバンドＯＧ「みつばち会」による演奏が総会を盛り上げた（２０１１年11月）

役　員

支部長　　角　　和夫（昭48年政経）
副支部長　向井　利明（昭44年政経）　人見　　亨（昭45年理工）
　　福井　澄郎（昭45年政経）　吉川　一三（昭45年商）
　　西田　隆郎（昭47年商）
幹事長　　小林　一則（昭55年政経）

定期総会

日　時：2012年11月１日（木）
会　場：大阪新阪急ホテル（大阪市北区）
講　演：鎌田　薫（早稲田大学総長）
　　森田　彰（早稲田大学教授）

第3回 校友会大阪府支部ゴルフ大会

日　　時：2012年９月８日（土）
場　　所：池田カンツリー倶楽部（池田市畑）
組　　数：30組
競　　技：ダブルペリア方式
プレー費：18,000円（予定）
会　　費：5,000円（賞品、会食代）※1998年以降卒業の方は3,000円
申し込み：８月21日までに校友会支部事務局へ

商議員・代議員

大学本部からの諮問審議、大学への建議を行う商議員は全体で1000人。代議員は校友会の最高議決機関で1200人。いずれも都道府県支部や年次稲門会、職員稲門会などからの推薦を受けて選出されまする。任期は４年。2012年６月に改選されました。大阪府支部選出の商議員、代議員は次のみなさんです。

また、大学本部の運営にかかわる評議員会（90人）があり、評議員として大阪からは松尾博人氏（昭33年法）と角和夫氏（昭48年政経）が大学本部選出として任じられています。

◆ 商議員（16人）

松尾　博人（昭33年法）　山原　一晃（昭37年理工）　大塚征慈郎（昭38年政経）
河田　一彦（昭42年商）　向井　利明（昭44年政経）　人見　　亨（昭45年理工）
福井　澄郎（昭45年政経）　吉川　一三（昭45年商）　山澤　俱和（昭46年政経）
稲田　增光（昭47年政経）　岩﨑　勇作（昭47年商）　竹田　雅幸（昭47年商）
西田　隆郎（昭47年商）　野村　公平（昭47年法）　熊澤　一郎（昭51年商）
田村　昌之（昭54年法）

◆ 代議員（15人）

野中　民蔵（昭40年法）　森本　充威（昭40年商）　揚野　　寛（昭43年政経）
小泉じゅん子（昭47年文）　尾下　千明（昭47年法）　尾田沙智乎（昭52年商）
豊島　恵子（昭52年法）　中西　克昌（昭53年社学）　相間　靖三（昭55年理工）
小林　一則（昭55年政経）　吉田　　治（昭60年法）　種田ゆみこ（平１年商）
和田　浩孝（平１年教）　大西　平一（平４年政経）　生島　啓二（平５商）

摂津源氏の系譜を辿る

大河内　茂太（平7年政経）

JR川西池田駅前のロータリーに大きな武士の銅像が立っている。銅像の主は、清和天皇の皇孫源経基の子で鎮守府将軍の源満仲である。この満仲の三人の子から摂津源氏、河内源氏、大和源氏が派生したため、本拠地である摂津多田（川西市）は源氏発祥の地と言われる。

満仲には妖怪退治の伝説があり、普明寺（宝塚市波豆）に伝わる「龍馬神伝説」は有名だ。満仲の墓所は源氏の氏神である多田神社の境内にある。

満仲の長子は「大江山の鬼退治」で有名な源頼光だ。「酒呑童子」を討つのに頼光四天王が活躍するが、中でも坂田金時は「金太郎」として有名である。金時の墓所は宝塚市域（川西飛地）の満願寺にある。

この頼光から四代下った嫡流が源三位頼政だ。頼政は平家全盛の時代に平清盛に信頼を得、公卿に昇った人である。頼政は弓の名人にして歌の名手である。平家物語の「鵺（ぬえ）退治」の話は有名で、能にもなっている。

満仲、頼光、頼政のいずれも妖怪退治を得意にしているのが面白い。

頼政は晩年、平家の専横に耐えかね、以仁王を担いで全国の源氏に平家打倒の令旨を発令する。しかし、中央に居たため、全国の源氏が蜂起する前に露見。平知盛の大軍に追い詰められ、奮戦むなしく宇治平等院で自刃した。

頼政は、家臣の渡辺唱（となう）に首を討てと命じるが、唱はどうしても刃を向けることができない。頼政は西に向かって高らかに念仏を十遍唱え、辞世の句を詠むと、軍扇を開いて自刃したという（平家物語）。墓所は平等院鳳凰堂の裏手にある。

辞世　埋もれ木の　花咲くこともなかりしに
身のなるはてぞ　悲しかりける

その後、頼政の令旨を受け取った伊豆の源頼朝が挙兵して、怒涛の源平合戦に突入する。

子の仲綱、兼綱もこの戦乱で自刃または討死し、孫の顕綱は三河国額田郡に落ち延びた。子孫は三河国に栄え、戦国期には引馬城（後の浜松城）で今川氏親と戦った貞綱が登場する（三河物語）。

また、江戸期には一族に「知恵伊豆」こと松平信綱という傑物が出た。島原の乱平定、幕藩体制の完成などに功績があり、徳川家光、家綱に仕えて老中首座。墓所は埼玉県の平林寺にある。

明治維新後は信綱の嫡流である正敏が高名である。理化学研究所所長として多数の科学者を育て、産業界ではリコーの市村清、政界では田中角栄を世に出した。原子爆弾の研究に関わったとしてA級戦犯。戦前は貴族院議員としても活躍した。

以上、淡々と摂津源氏の系譜を辿ってみた。なお、摂津源氏には他に太田道灌の一流もある。

株式会社 財産プランニング研究所

不動産の鑑定評価、コンサルティング

代表取締役・不動産鑑定士　熊澤　一郎　昭51年　商

〒560-0011 豊中市上野西1丁目10番7号　TEL.06-6854-0002　FAX.06-6849-3355
E-MAIL：i-kumazawa@z-plan.jpn.com

大阪事務所
〒541-0041 大阪市中央区北浜1丁目5番5号　大阪平和ビル6階
TEL.06-6229-0050　FAX.06-6229-0051

収支決算書

（2011年4月1日～2012年3月31日）

収入の部		
会　費		7,957,333
寄付金		224,660
出版協力金		564,895
事業収入		1,498,000
雑収入		733,526
会員名簿収入		0
基金取り崩し収入		0
当期収入合計		10,978,414

支出の部		
事業費	事 業 費	1,909,121
	印 刷 費	866,102
	会計名簿	0
	小　　計	2,775,223
経費	給料・諸手当	2,424,145
	家賃・共益費	1,745,820
	通 信 費	506,315
	消耗品費	775,492
	振替手数料	20,175
	慶弔接待費	111,352
	雑　　費	152,851
	予 備 費	0
	小　　計	5,736,150
備品購入支出		0
当期支出合計		8,511,373

当期収支差額	2,467,041
前期繰越額	6,980,849
次期繰越額	9,447,890

（単位・円）

倶楽部活動実績・計画

2011年度活動実績

1．倶楽部財政黒字化の定着化
事務合理化の積極的推進＝月次発送資料のメール配信（会員のうち63.5%がメール利用）などにより通信費削減。次年度に247万円の繰越達成（10年度繰越額76万円）

2．早稲田倶楽部祭の再開
1968年に第１回開催。2011年は震災のため中止したが、12年４月７日（土）に再開。玉造稲荷神社で理事会、新人歓迎会と同時開催し、終了後に大阪城公園内の「早稲田の森」を見学した。参加56人

3．倶楽部室開館時間の変更
11年６月より11時～18時

4．ホームページの活用
コンテンツ更新のスムーズな対応と運営。ツイッター、ブログの運用開始

5．校友会支部活動との連携
校友会支部主催の文楽鑑賞会への参加（12年１月14日　参加129人）
校友会支部と共催の新年会（12年１月14日　過去最多の99人参加）

6．新規部会の立ち上げ
関西演劇文化研究会、写真部、歌声サロン

2012年度活動計画

1．倶楽部財政健全化の維持
2．会員の増強による会費収入のアップ
3．校友会支部行事との連携強化
4．倶楽部祭参加の募集強化
5．サイレント会員のアクティブ化
6．新人歓迎会の開催（４月、10月）
7．新規部会の本格的活動開始
8．青年部活動の活性化：若年層会員への活動・勧誘強化
9．会員名簿の改訂：前回改訂2010年９月
10．ホームページの更新と積極的活用

大阪早稲田倶楽部
〒530-8310　大阪市北区芝田1-1-35
大阪新阪急ホテル３階
TEL：06(6377)2002
FAX：06(6377)2003
URL：http://www.osakawaseda.jp
mail：125@osakawaseda.jp
倶楽部室開館時間：月～金（祝日、年末年始を除く）
11：00～18：00

編集／大阪早稲田倶楽部 広報委員会
印刷／大阪読売サービス株式会社

宝塚歌劇

阪急阪神東宝グループ

幕が上がる、夢がはじまる。

TAKARAZUKA Revue

宝塚大劇場

●阪急宝塚駅下車

●お問い合わせ　TEL.0570-00-5100

※一部の携帯電話、PHS、IP電話などからはご利用いただけません

（営業時間/10:00～17:00 水曜定休）

東京宝塚劇場

●JR有楽町駅、東京メトロ・都営地下鉄日比谷駅下車

●お問い合わせ　TEL.03-5251-2001

（営業時間/10:00～18:00 月曜定休）

【宝塚歌劇公式ホームページ】http://kageki.hankyu.co.jp/【宝塚歌劇公式携帯サイト モバイルタカラヅカ】http://takarazuka.tw/